

つなごう 地域の宝を 未来へ



# いちのへ議会だより

Ichinohe Town Council News

No.227

岩手県一戸町議会



もみじ交遊舎 伝統工芸を守る人たち▶関連記事24ページ

## contents

### 3月定例会・1月臨時会

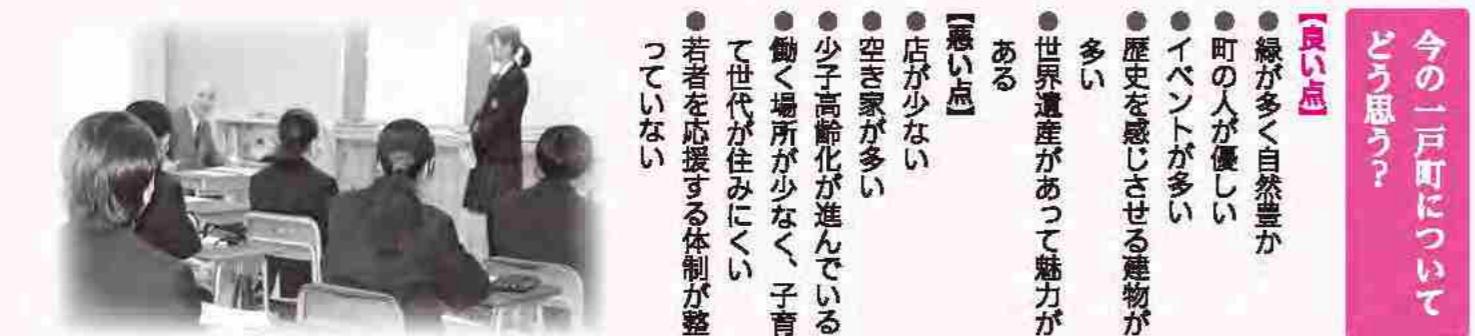
02 特集 高校生が考える町の未来★  
一戸高校生徒との意見交換会

- 05 令和6年度当初予算を審議
- 15 町の未来を問う  
(一般質問7氏が登壇)

# 高校生の皆さんに聴きました／



日 時：令和6年2月1日（木）  
会 場：岩手県立一戸高等学校  
参加者：2学年生徒 75人  
※学校名・学年は開催当時



- 【良い点】
- 緑が多く自然豊か
  - 町の人々が優しい
  - イベントが多い
  - 歴史を感じさせる建物が多い
  - 世界遺産があつて魅力がある
- 【悪い点】
- 店が少ない
  - 空き家が多い
  - 少子高齢化が進んでいる
  - 働く場所が少なく、子育て世代が住みにくく
  - 若者を応援する体制が整っていない

10年後どんな町になつていてほしい？



- 10年後どんな町になつていてほしい？
- 子どもや若者が増えてにぎわってほしい
  - 医療・福祉が充実した住みよい町
  - 交通面などの観点から安全に過ごせる町
  - 県内外からたくさんの人々が訪れる町
  - 祭りなどの伝統が残っている町
  - 自然と建物どちらかがなくなるということなく、均等に存在しているような町

- SNSを活用したPR活動を行う
- 再生可能エネルギーを活用する
- 町の魅力を他県の人などに知つてもらう取り組みをする
- 高校生などの若者が主体となり、地域活性化につながるイベントを行う
- 町の魅力を全国の人などに知つてもらう取り組みをする
- ごみが落ちていることが多いので、ポイ捨てをなくす活動をする
- 若者向けの施設を増やす
- シャッターが閉まっている店が多いので、シャッターオーを開いて店を増やす
- ポイ捨てをなくす活動をする
- 地域の人たちと問題点を話し、解決策を出し合う
- 町民は、やつてほしいことがあれば声をあげる
- 仕事を増やし、働きやすい環境をつくる
- 標的的にボランティアに参加する

理想の町にするため  
にやるべきこと

## 特集

## 広報広聴常任委員会所管事務調査

# 一戸高等学校生徒と 広報広聴常任委員との意見交換会



一戸町議会では、これまで町内中学生を対象に「いちのへみらい塾」として高校生の考え方や意見を聞く機会をつくることを目的に、岩手県立一戸高等学校（現・北桜高校）生徒の皆さんと意見交換会を行いました。

一戸町議会だより  
**編集方針**

議会や議会だよりに関する  
ご意見、ご要望は右記まで

〒028-5311 一戸町高善寺字大川鉢 24-9 「一戸町議会事務局」  
Email : gikai@town.ichinohe.iwate.jp

1 読みやすい、わかりやすい、  
町民目線の編集を心がける。

2 議事、議会活動を的確に伝え、  
町民に見える議会を目指す。

3 町民の声を広く聴き、町民と  
議会の関係づくりを深める。

# 町の予算を可決

3月定例会は2月21日から3月13日まで22日間の日程で開催されました。

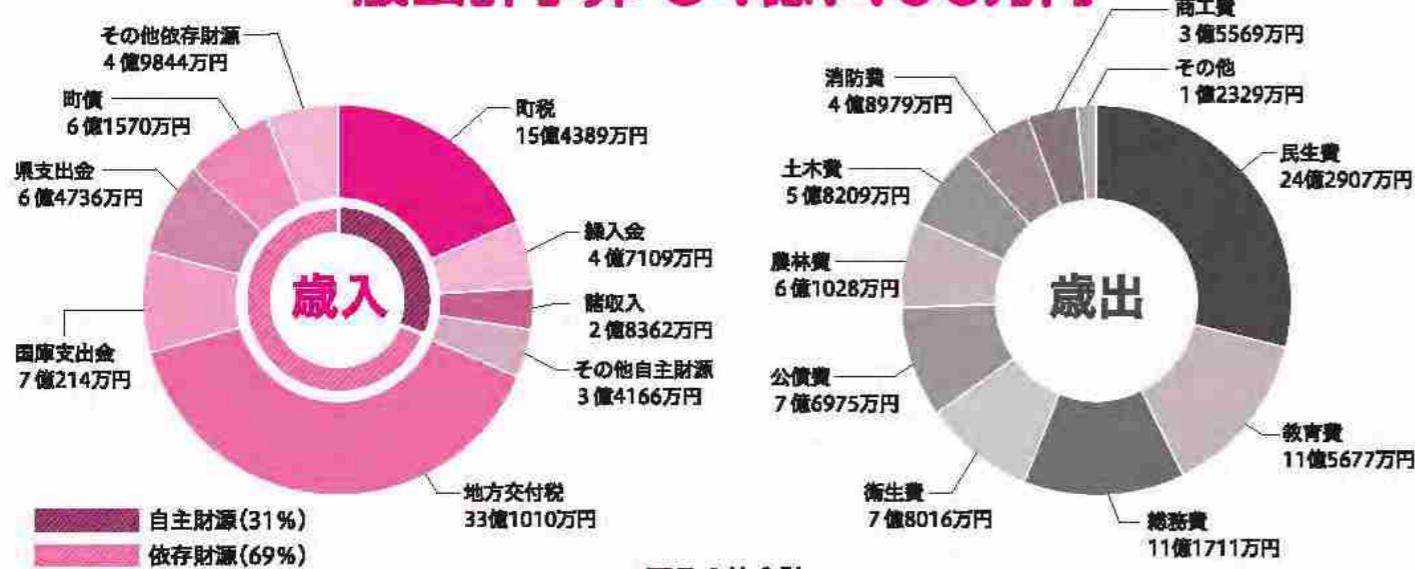
最初に町長より令和6年度施政方針演説、教育長より教育施政方針演説がありました。

令和6年度一般会計予算ほか各特別会計予算などの新年度予算議案6件は、議長を除く議員全員で構成する予算審査特別委員会に付託し、審査しました。審議の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決し、予算審査特別委員会を閉会しました。

本会議では、諮問2件、新年度予算議案を含む議案21件、委員会の閉会中の継続調査2件、議員派遣の件1件をすべて原案のとおり同意可決しました。

一般質問には7人の議員が登壇し町政の諸課題について町の姿勢をただしました。

## 一般会計予算 84億1400万円



用語解説	
①歳入・歳出	歳入は収入、歳出は支出のこと。
②町税	町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、入湯税
③地方交付税	全国どこでも一定水準以上の行政サービスを提供するため、国の税金(所得税、法人税、酒税など)の一部を地方自治体に配分し、自治体ごとの税収の差をならすもの。
④町債	町が資金調達のために行う長期借入金(借金)
⑤公債費	町債(借金)の返済に充てるお金

令和6年度 各特別会計予算	
国民健康保険事業	15億1800万円
土地取得	27万円
後期高齢者医療事業	1億7738万円

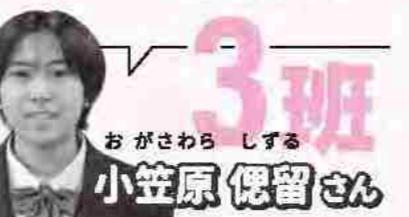
令和6年度 各公営企業会計予算	
水道事業会計予算	収益的収支 収入 3億4359万円 支出 3億3274万円
	資本的収支 収入 1億4942万円 支出 4億3718万円
下水道事業会計予算	収益的収支 収入 3億5964万円 支出 3億5647万円
	資本的収支 収入 2億6503万円 支出 3億5998万円



## 参加生徒の感想

今回のいちのへみらい塾では、私たちが住む一戸町と向き合う場を設けることができました。また、意見交換を通して、現状、課題、要望を本音で語り合うことができ、一人一人が今やるべきことを実感できるとても良い経験になりました。ありがとうございました。

今回の会を通して、理想の町にするためには、町全体で協力しながら変えていくことが大事だということが分かりました。将来、自分が住む町が良い町だなと思えるよう、公務員になつたら今回のことを利用して、活動に意見を言ってみたいと思いました。



3班  
おがわら しづる  
小笠原 健留さん



2班  
まつだ まゆ  
松田 真夏さん



1班  
いりうち かなみ  
入団 叶理さん

今回、皆さんと意見交換を行い、役場でやろうとしているようなことを知り、問題意識として持っていることを知りました。少子高齢化に関して、令和5年12月に国立社会保障・人口問題研究所から公表された日本の30年後の人口推計によると、一戸町の人口は5千人ほどになる見込みです。なかなか厳しい世の中が待っているかもしれません。今から問題意識を持つていれば、希望を持てる社会につながるのではないかと、心強く思いました。



参加委員から  
にしうじ やすお  
仁昌寺 泰夫委員

一戸の課題点を挙げ話し合い、それを通して一戸の現状を知ることができました。人口減少、少子高齢化に対しての改善案は出ましたが、正直難しいことだと感じました。ですが、将来を担うわたしたちが今できることは何か考え行動していくことが大切だと思いました。



5班  
はんざわ りな  
半澤 梨菜さん

僕たちの班はたくさん良いところ、悪いところ、意見などが出て、一戸などに若者が集まらないのはなぜか、若者はどう思っているのかを議員さんに伝えることができました。この授業で議員に若者の一戸に対する思いを伝えることができてよかったです。



4班  
なつい よしき  
上井 芳樹さん

## 地域活性化

### 新 結婚新生活支援事業

39歳以下の世帯を対象に、住宅費および引っ越し費用等の補助を行います。

100万円

### 新 小鳥谷駅前公衆トイレ新設事業

1949万円

新年度  
(令和6年度)  
事業予算

# 元気で健やかに 暮らせるまちづくり

## 健やかな暮らしを守る

### 新 出産祝金交付事業 350万円

※出生子 ひとり10万円

### 新 子育て応援在宅育児支援事業

144万円

### ● 各種予防接種委託事業 3620万円

### 新 後期高齢者保健介護一体化事業

882万円



## 人材を育む環境整備

### ● 入学祝金交付事業 406万円

※小中高・新入学生 ひとり2万円

### 新 地域クラブ活動推進事業

部活動の地域移行に向けて、休日の活動から段階的に移行を進めます。 140万円

### 新 体育館照明器具 LED改修事業

7224万円

## 生活環境の充実

### ● 消防ポンプ自動車購入事業

一戸分署と消防団本町(1-1)の消防ポンプ自動車を更新します。 1億86万円

### 新 ペット火葬助成事業

ペット火葬に係る経費の1/2(上限1万5千円)を助成します。 45万円

### 新 町内ライブカメラ更新事業 3607万円

### 新 空き家実態調査事業 850万円



一戸分署消防ポンプ車と分署員の皆さん



世界遺産登録3周年を迎える御所野遺跡

## 産業振興と仕事創出

### 新 森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策事業 3500万円

### ● いわてニューファーマー支援事業

就農前後の青年新規就農者へ資金を交付します。 890万円

### 新 企業情報発信サイト作成事業

町内企業の情報発信と就職促進のため、企業情報を掲載したサイトを作成します。 129万円

## 歴史・文化を活かす

### 新 世界遺産PRイベント開催事業

御所野遺跡の魅力発信のためのPRイベントを開催します。 600万円

### ● 旧朴館家住宅保存修理事業

2888万円

### ● 媛土芸能等保存伝承事業

各団体の伝承活動に対し補助を行います。 105万円





# 3月定例会 審議結果



番号	件名と主な内容	議決結果
議同1~2	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めるについて(詳細は12ページ)	原案同意
議案1	教育委員会教育長の任命に同意を求めるについて(詳細は12ページ)	原案同意
議案2	辺地に係る総合整備計画の変更に関し議決を求めるについて(平穂辺地) 平穂辺地に係る総合整備計画に登載されている、町道摺糠平穂線改良舗装事業の事業費を増額するもの	原案可決
議案3	指定管理者を指定することに関し議決を求めるについて(一戸町有料老人ホーム) 指定管理者:株式会社結愛サービス公社(更新) 指定期間:令和6年4月1日~令和11年3月31日(5か年)	原案可決
議案4	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、関係条例を整理するもの	原案可決
議案5	一戸町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、所要の整備をするもの	原案可決
議案6	職員の育児休業等に関する条例の一部改正 育児休業をしている会計年度任用職員への勤勉手当の支給について、所要の整備をするもの	原案可決
議案7	一戸町道路占用料徴収条例の一部改正 岩手県の道路占用料徴収条例に準じ、道路占用料の額を改定するもの	原案可決
議案8	一戸町空家等対策条例の一部改正 空家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律の施行に伴い、管理不全空家等に対する措置を定めるほか、所要の整理をするもの	原案可決
議案9	一戸町水道条例及び一戸町水道の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正 水道法の一部改正に伴い、所要の整理をするもの	原案可決
議案10	一戸町水道事業の剰余金の処分等に関する条例の一部改正 地方公営企業法を適用することとしている下水道事業で生じる剰余金の処分等について定めるとともに、資本剰余金の処分等について所要の整備をするもの	原案可決
議案11	一戸町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正 (詳細は11ページ)	原案可決
議案12	令和5年度一般会計補正予算(第9号) 歳入歳出それぞれ1億9600万円を増額し、総額をそれぞれ19億6500万円とするもの(詳細は12ページ)	原案可決
議案13	令和5年度国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ1126万円を増額し、総額をそれぞれ14億9765万円とするもの。 <歳出の主な内容> ・保険給付費等交付金償還金(1121万円)	原案可決
議案14	令和5年度下水道事業特別会計補正予算(第2号) 歳入歳出それぞれ2860万円を減額し、総額をそれぞれ2億9688万円とするもの。 <歳出の主な内容> ・公共下水道施設整備実施設計事業	原案可決
議案15	令和5年度個別生活排水処理事業特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ1003万円を減額し、総額をそれぞれ4674万円とするもの。 <歳出の主な内容> ・浄化槽設置工事費	原案可決

議案第16号~議案第21号の詳細は5~10ページをご覧ください。

**教育長の任命に同意**

中嶋 敦氏  
(高善寺字野田)

教育委員会教育長に中嶋敦氏を任命(再任)することに同意しました。任期は、令和6年4月1日から令和9年3月31日までの3年間です。

吉田 幸男氏  
(橋山字滝野)

東山 奉子氏  
(西法寺字稻荷)

教育委員会教育長に吉田幸男氏を任命(再任)することに同意しました。任期は、令和6年4月1日から令和9年3月31日までの3年間です。

**令和5年度  
一般会計補正予算(第9号)  
歳出の主な事業**

- ◆町道摺糠平穂線道路改良事業 ..... 4200万円
- ◆町道平穂線舗装補修事業 ..... 1600万円
- ◆ほ場整備事業 ..... △2483万円
- ◆二戸広域行政事務組合負担金 ..... △1372万円

3月定例会 賛否が分かった議案														
議案	大澤恵里子	木戸繁男	山館章子	田中新吉	仁昌寺泰夫	田頭健造	赤畠博	柴田正三	峠勇男	中瀬春英	上山文雄	土川昭悦	駒木二郎	結果
議案3	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	●	一	原案可決

## 議長交際費 令和6年1月~3月執行状況

区分	1月		2月		3月	
祝 金	12件	44,000円	7件	33,000円	2件	10,000円
会 費	1件	4,000円	1件	10,000円	一	一
見舞金	一	—	—	—	—	—
弔慰金	2件	10,000円	—	—	—	—
接 遇	—	—	—	—	—	—

### ※交際費の主な分類

祝 金	慶事、式典、祝賀会、各種懇親会等の祝金など
会 費	慶事、各種懇談会等の会費
見舞金	病気、入院等の見舞金
弔慰金	香典など
接 遇	視察来訪等の賄い、視察先へのお土産など

人権擁護委員として、2人を推薦することに同意しました。任期は、令和6年7月1日から令和9年6月30日までの3年間です。

## 【請願】

今期定例会では、12月定例会において産業建設常任委員会に付託し、継続審査としていた請願1件について審査を行いました。

破損しており、本来の排水機能を果たしていません。生活道路としての機能回復と住民の安心と財産を守るために、早期の道路改良舗装工事を望むのです。

### 表の見方

「○」は賛成、「●」は反対、「-」は採決に加わらなかつたことを表します。駒木議長は賛否が同数などの場合にのみ採決に参加します。これ以外は採決に参加しません。



仁昌寺泰夫 議員

P16

①人口減少対策について



大澤恵里子 議員

P17

①災害対応について

②防災体制について

③人口減少について



峠 勇男 議員

P18

①ライフラインの維持管理と避難所の設営について

②町として地球温暖化対策を実証することについて

③職員の待遇改善について



柴田 正三 議員

P19

①一戸町の未来予想図について

②学校統合計画について



田中 新吉 議員

P20

①町道小滝小友線の道路改良について

②災害対策について



木戸 繁男 議員

P21

①産業振興について

②防火水槽の設置と災害備蓄整備等について



山館 章子 議員

P22

①子育て支援について



## 「議会中継」をご利用ください!!

6月定例会は6月上旬に開催です。議会傍聴と町ホームページでの議会中継のライブとオンデマンドをぜひご利用ください。

<https://www.town.ichinohe.iwate.jp/> 議会中継をクリック

\*町ホームページの町議会から入ります。

「会議録」を  
公開しています

町議会ホームページにおいて、令和4年6月以降  
の本会議の会議録を公開しています。最新の会議  
録は、会議終了後2か月程度で公開されます。



会議録  
検索システムは  
コチラから!

# 一般質問

町政の未来を問う

一般質問は、行政全般にわたり  
疑問点をただし、町の所信を求める  
もので、定例会で行います。質問は、  
議員と町長が対面し、一つの質問を  
して一つの回答を得る「一問一答方  
式」です。1人50分の制限時間内で  
質疑を繰り返します。

1月  
臨時会

## 各種物価高騰対策予算を可決

令和6年第1回臨時会を1月31日に開催しました。報告1件と議案5件は、  
審議の結果、原案のとおり承認・可決されました。

番号	件名と主な内容	議決結果
報告1	専決処分の承認(令和5年度一般会計補正予算(第7号)) 歳入歳出それぞれ5881万円を増額し、総額をそれぞれ93億5971万円とするもの 繰越明許費で、2事業5881万円を設定するもの <歳出の主な内容> ・住民税均等割のみ課税世帯給付金(4898万円) ・低所得の子育て世帯加算給付金(983万円)	原案承認
議案1	工事請負契約の締結(一戸町役場庁舎エアコン設置工事) 契約金額 8558万円 契約の相手方 株式会社田中建設(一戸町)	原案可決
議案2	町長の給料の特例に関する条例の制定 職員の懲戒処分案件および事務の誤り事案の発生を重く受け止め、管理監督責任として行政責任を明確にし、町長の減給処分を行うもの	原案可決
議案3	第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例及び第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部改正 常勤職員の給与に準じて、会計年度任用職員に対し勤勉手当を支給しようとするもの	原案可決
議案4	一戸町手数料条例の一部改正 戸籍法の一部を改正する法律の施行に伴い、地方公共団体の手数料の標準に関する政令および関連する省令が改正されたことから、新たに追加された事務の手数料を定めるとともに、法令の規定において無料で証明できることとされている戸籍に関する手数料に係る規定を整備しようとするもの	原案可決
議案5	令和5年度一般会計補正予算(第8号) 歳入歳出それぞれ1億929万円を増額し、総額をそれぞれ94億6900万円とするもの <歳出の主な内容> ・乳用牛・肉用牛飼料価格高騰対策緊急支援事業(4250万円) ・物価高騰対策資金利子補給事業(1991万円) ・プレミアム付商品券発行事業(1863万円) ・運輸事業者運行支援緊急対策事業(1241万円)	原案可決

1月臨時会 賛否が分かれた議案														
議案	大澤恵里子	木戸繁男	山館章子	田中新吉	仁昌寺泰夫	田頭健造	赤畠博	柴田正三	峠勇男	中瀬春英	上山文雄	土川昭悦	駒木二郎	結果
議案2	欠	○	○	欠	○	○	欠	○	●	●	○	○	○	- 原案可決

表の見方

「○」は賛成、「●」は反対、  
「-」は採決に加わらなかつたことを表します。  
駒木議長は賛否が同数などの場合にのみ採決に参加します。これ以外は採決に参加しません。

問 どんなに注意してもヒューマンエラーは発生します。それを未然に防ぐシステムを構築してもらおうほう達は行いましたか。

答 令和5年7月に各課ごとにコンプライアンス研修を実施しました。内容としては、発生した。内規として、発取り組み、健全な自治的としたものでした。

問 どうぞ。それも大変だと思いますが、何か研修や職員への通達は行いましたか。

主な質疑応答

議案第2号

臨時会

## 人口問題 対策本部を立ち上げた

問

厚生労働省の  
国立社会保障・  
人口問題研究所は12月  
に2050年の推計人  
口を公表しました。

戸町は県内4番目、  
56・9%の減少率で4  
956人と推計され  
ています。

岸田総理は「異次元  
の少子化対策」を掲げ、  
達成知事は人口減少対  
策を最優先に取り組む  
と所信を述べています。  
町長はこの現状をど  
のように捉え、今後ど  
のような対策をしてい  
くのか、見解を伺いま  
す。

町長はこの現状をど  
のように捉え、今後ど  
のような対策をしてい  
くのか、見解を伺いま  
す。

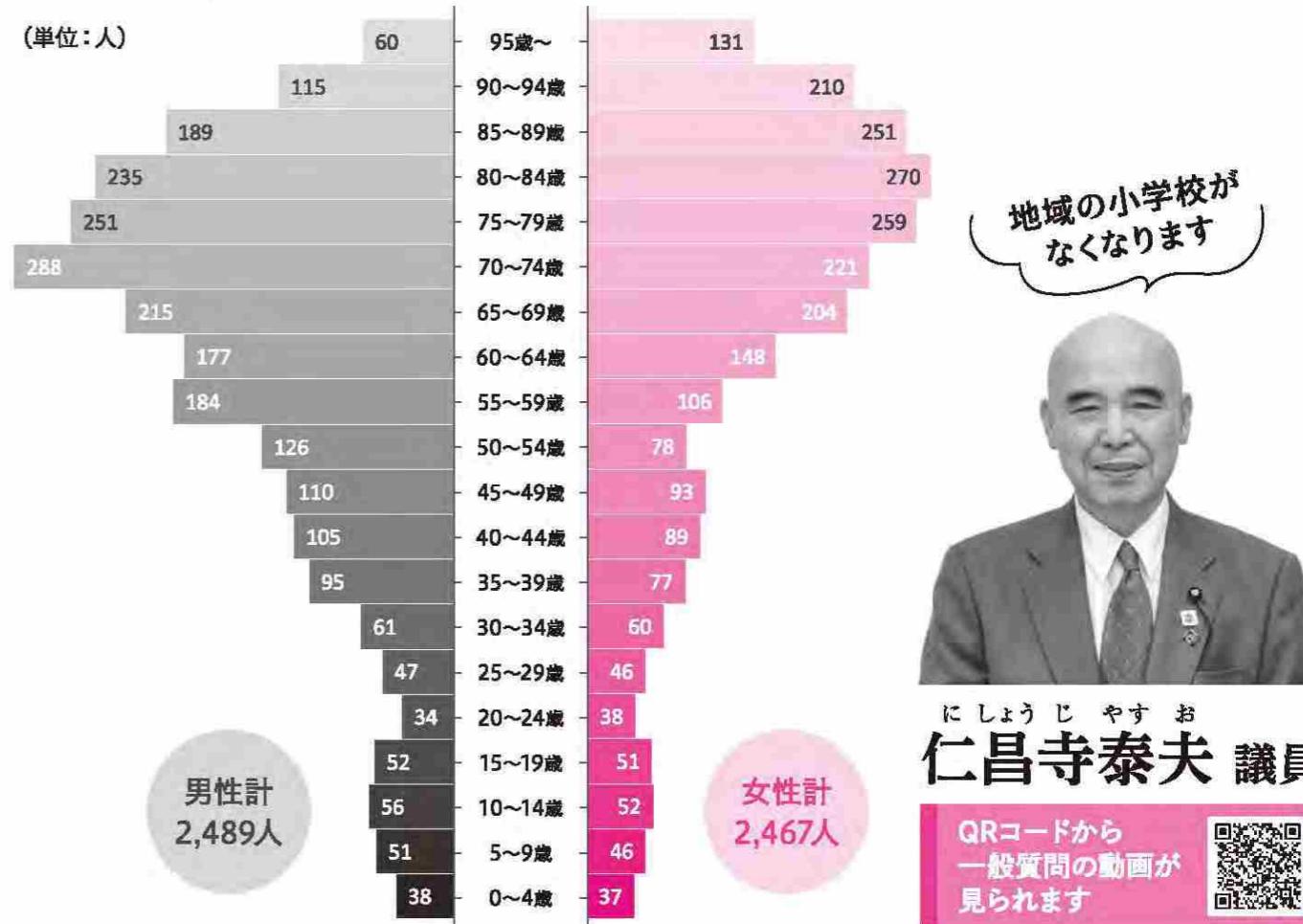
人口減少対策は喫緊  
の最重要課題であると  
認識しており、その対  
策は子育て支援だけで  
なく、教育・移住・定住、  
住宅・雇用など町施策  
全体に及ぶものです。  
このため、全厅的に人  
口減少対策を推進する  
体制を一層強化するた  
め、2月に「人口減少対  
策本部」を立ち上げた  
ところです。

政府は「こども・子  
育て政策」を主要政策  
に掲げ、岩手県では国  
庫財源を活用しながら

出会い・結婚支援、  
支援の少子化対策事業  
を市町村と連携しなが  
ら展開することとして  
おり、対策本部では現  
行の施策の検証を行  
とともに、国や県の施  
策展開に合わせた施策  
の見直し、新規施策の  
検討を進めることとし  
ています。

### 一戸町の2050年推計人口

〈国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」より作成〉



## 災害対応

### 避難所・物資の備えは？ 今後の備えを強化する

問1 想定される  
最大規模の地  
震があった場合、避難  
所は足りますか。物資  
はどれくらい備えてい  
ますか。

また、町職員は訓練  
をしていて、災害発生  
時すぐに対応できます  
か。学校や教育委員会  
の対応も伺います。

【町長】 収容避  
難所は15箇所あり、  
収容人数は850  
人となっています  
から、必要な規模を確  
保できていると考えま  
す。備蓄品は、品目や數  
量を増やしています  
が、各家庭でも非常食  
も購入を継続します  
が、各家庭でも非常食  
の準備等、自助をお願  
いするものです。

答 【町長】 能登半島地  
震の被災地に  
対して町が行つた支援  
を伺います。

問2

能登半島地

【教育長】 中学校の体育館  
が避難所となっていました  
が、児童生徒の対応は、  
地震、水害、火災、不審  
者等を想定した避難訓  
練を年2～5回実施し  
ており、児童生徒が自  
ら命を守る行動をとる  
ことを訓練し、学校職  
員の行動や役割も確認  
する機会としていま  
す。

職員全体の防災訓練  
は近年実施していない  
状況で、令和6年度中  
に実施する計画です。

【町長】 県を通じて、職員派遣の  
要請があり、3月2日  
から9日まで職員1名  
を派遣しました。今後  
も要請があれば、可能  
な限り職員を派遣する  
予定です。

また、県町村会が窓  
口となり、当町からも  
被災町へ義援金を贈っ  
ています。



ボードゲームを通して防災について学ぶ小学生

## 防災体制

### 消防団にドローンの配備を

### 支援の方法を検討する

問1 防災に対する  
組織力強化のため、知識や経験が  
豊富な消防職員や警察  
官、自衛隊員経験者を  
職員に迎える考えはあ  
りませんか。

答 【町長】 近隣で  
町村で退職自衛官の登  
用事例があります。引  
き続き同様の事例につ  
いて情報収集します。

【町長】 盛岡市消防  
団ではドロー  
ンの活用や、航空隊の  
設置をしているそうで  
す。当町でも、消防団  
に対してドローンの配

備や資格取得の支援を  
行う予定はありません  
か。

【町長】 先般、県  
主催の消防団員を  
向けの講習会に団員を  
派遣し、有用性を学習  
したところです。ドロ  
ーンの操作は免許が必  
要で、取得費用が高額  
なことから、県内の状  
況を見極めながら支援  
方法を検討します。

このほか「人口減少  
について」も質問しまし  
た。

## ライフラインの維持管理

**断水被害を防ぐための取り組みは重要施設の基幹管路耐震化を実施。**

問1 能登半島地  
震において、道路や水道などのパイplineが分断されたことが深刻だと言われています。当町では、長期に渡る断水被害が発生しないような取り組みをしていますか。

で、県や全国の平均を上回っています。今後も計画的な基幹管路の耐震化を推進し、応急給水等の緊急対応に関して広域的な連携体制を強化するなど、災害対策を講じたいと考えます。

答【町長】耐震性能のある水道管を採用しており、石綿セメント管等の更新や、病院などの重要施設に給水する基幹管路の耐震化を重点に事業を実施しています。また、一戸町地域水道ビジョンを策定し水道施設の更新を実施しており、これにより令和3年度の基幹管路の耐震適合率は48.5%

問2 避難所を設営した場合に必要な水と食料は、どのように備蓄・保管していますか。



役場庁舎で備蓄している食料品

約160食分保存しています。飲料水はペットボトル保存水を役場庁舎に210リットル、小鳥谷地区センターに120リットル、奥中山地区センターに7リットル備蓄しています。

## 地球温暖化対策

**CO<sub>2</sub>抑制技術を実証する考えは**

**農業再生協議会を通じて推奨する**

問二酸化炭素の発生抑制について、水稻栽培においても簡単な方法でできる技術が開発されましたが、「クレジットの取り組みにあわせて、町内の水田で実証したいと考えますが、所見を伺います。

答【町長】岩手県地球温暖化対策実行計画の目標達成に向けた施策の中で「メタン発生抑制効果のある水田の長期中干しなど」の生産技術の導入促進が農業活動での排出削減対策として位置づけられています。

Jクレジット制度においては「水稻栽培による中干し期間の延長」が承認されており、令和4年からクレジットとして取引可能となつて今まで、同制度の活用も推奨しています。

このほか「職員の待遇改善について」も質問を受けました。



とうげ  
嶋  
いさお  
**勇男** 議員

QRコードから一般質問の動画が見られます

## 町政運営

**町の未来とリーダーシップを伺う**

若者の声を  
町政運営に



柴田 正三 議員

QRコードから一般質問の動画が見られます

## 一般質問



問 広報広聴常任委員会の事業で、一戸高等学校2年生との意見交換会を行いました。若い世代が一生懸命に町の未来について考  
えてくれています。今

答【町長】「赤ちゃんとからお年寄りのようリーダーシップを發揮するか伺います。

まで、笑顔で暮らせる町を目指します」を公式に掲げ、町長になりました。就任後はこの公約の実現に意を強くしております。それが私の未来予想図です。

近年、大雨被害や猛暑により町民の生活が安全安心の確保が必要です。その上で、人口減少対策により持続可能なまちづくりを実現したいと考えます。

また、子どもを産育てられる環境、所得を得られる環境を整え、笑顔で暮らせる町を実現したいと考えます。

若者をはじめとした町民との対話を続け、スピード感を持つて町政執行にあたります。

また、子どもを産育てられる環境、所得を得られる環境を整え、笑顔で暮らせる町を実現したいと考えます。

若者をはじめとした町民との対話を続け、スピード感を持つて町政執行にあたります。

## 学校統合

**少子化に伴う今後の統合計画は**

**地域や学校等の意見を聞き検討する**

問 少子高齢化に伴い小中学校が統合され、なくなる事態となっています。令和7年には鳥海小学校が一戸小学校に、小鳥谷小学校が一戸南小学校に統合されることが決定しており、地域振興の停滞が懸念されます。

さらに近年、町の年間出生数は30人前後です。少ない出生数が続くと思われますが、今後の学校統合計画を伺います。

や、地域振興への不安な気持ちを受け止め、多くの方から意見を伺いながら進めることができます。将来的に町全体で一年30人となることが想定されています。これから踏まえ、町の小中学校の在り方をできるだけ早く示したいと考えています。

今後、各学校運営協議会に出向き、保護者や地域、学校の意見を聞き、教育委員の意見も伺いながら、新たな小中学校の在り方を検討していきます。

町道小滝  
小友線町道の道路改良は  
整備計画を検討する

問 地域の皆さまの切実な願いで請願が出されています。町道小滝小友線の道路改良についての請願も、毎日の不便を感じての要望だと思います。

答 検討した結果と今後の取り組みを伺います。

【町長】町内の道路整備は、継続して進めていきますが、全国的に新設改良から維持管理の時代へ移行していることから、新設改良事業に国の予算が付きづらくなっており、現在、町が整備している新設改良事業にも遅れが生じ、新規事業への着手が難しい状況です。



幅員が狭く不便を来している小滝小友線

問 高齢化等で果樹農家の減少が進んでいます。農家からは、町や農協とのつながりがなくなつております。このまま推移すると当町のリンゴ農家はほとんどいないと言われています。道の駅の産直出品者確保対策を考えれば、果樹農家の育成は喫緊の課題です。

答 町内農家の減少が進んでいます。農家数は30戸で、令和2年農林業センサスと比較すると15戸減少しています。近年、凍霜

害や高温障害による育成不良、鳥獣による被害で生産量が減少し、経営を圧迫しているものと考えられます。対策として、本年度に凍霜害等の被害を受けた果樹農家へ、凍霜害等被扶助金支給事業を実施しています。農家の育成は、生産者や地域の農業関係者との話し合いをこれまで以上に重ね、今後の方針をとり、関係機関との連携を図り早急に取り組んでほしいです。

問 1 高齢化等で果樹農家の減少が進んでいます。農家からは、町や農協とのつながりがなくなつております。このまま推移すると当町のリンゴ農家はほとんどいないと言われています。道の駅の産直出品者確保対策を考えれば、果樹農家の育成は喫緊の課題です。

答 【町長】令和5年度の町内果樹農家数は30戸で、令和2年農林業センサスと比較すると15戸減少しています。近年、凍霜

害や高温障害による育成不良、鳥獣による被害で生産量が減少し、経営を圧迫しているものと考えられます。対策として、本年度に凍霜害等の被害を受けた果樹農家へ、凍霜害等被扶助金支給事業を実施しています。農家の育成は、生産者や地域の農業関係者との話し合いをこれまで以上に重ね、今後の方針をとり、関係機関との連携を図り早急に取り組んでほしいです。



順調に開花したリンゴの木

問 2

道の駅開設に向け、出品者との組織づくりも早急に取り組むべきです。

## 産業振興

果樹農家の支援と育成を  
関係者と話し合いを重ね取り組む。

農家経営の  
継続支援を



木戸 繁男 議員

QRコードから  
一般質問の動画が  
見られます



## 防災対策

## 大型防火水槽を設置できないか

## 有効な水利の確保を研究する



問 最近、火災が多発しています。特に大火災の際は、消防栓だけでは対応できないと考えられます。馬淵川に距離があり、住宅密集地の高善寺、西法寺地区に大型防火水槽が必要だと思います。

答 【町長】現在設置している防火水槽は40トンを基準としています。大型の100トン程度の防火水槽を設置する場合、概ね50平方メートル以上で、かつ平坦な土地が必要となることや、大災時に防火水槽では長時間の水利確保ができないことから、有効な水利の確保を研究します。

## 災害対策

## 住民参加型の防災訓練を

## 実施を検討し働きかけを進める

災害は忘れたころに  
やってくるよ



田中 新吉 議員

QRコードから  
一般質問の動画が  
見られます



問 令和4年8月の長雨による土砂および河川の増水による災害は、当町でも今までにないほどの被害を出しました。また、能登半島地震でも多くの方が犠牲になつていきました。今後、これまで以上の大きな災害が起きないとも限りません。災害マップ等を作成して注意喚起はしていますが、マップを踏まえた住民参加型の災害対策をすべきだと思いません。ですが、所見を伺いま

す。近年は、町主催の住民参加型の防災訓練を実施できていないことがあります。町では、自主防災組織に対し、訓練実施の働きかけを今後も進めています。

答 【町長】町では、自主防災組織による防災訓練の実施に対して補助金を交付しています。しかし、申請件数は本年度で6件という状況です。また、全国的に、参加者の固定化等の問題が見られます。

## 少子化対策

「子どもは町の宝である」という機運を醸成する



やまだてあきこ  
山館 章子 議員

QRコードから  
一般質問の動画が  
見られます



問1 「子ども家庭センター」開設について伺います。

答

【町長】 「子ども家庭センター」は、児童福祉法の改正で令和6年度から設置が努力義務化されました。一定期間研修を受けた統括支援員の配置や体制整備を行う必要があり、令和6年度から設置に向け取り組みを進めます。

ていませんが、認定こども園で従来より広く園しています。一時預かり事業については利用ニーズを注視しています。

答

【町長】 現在、町立の施設では一時預かり保育を実施し

問2 一時預かり事業について伺います。

答

【町長】 「こども家庭センター」は、児童福祉法の改正で令和6年度から設置が努力義務化されました。一定期間研修を受けた統括支援員の配置や体制整備を行う必要があり、令和6年度から設置に向け取り組みを進めます。

問3 年度途中のこども園入園について伺います。

答

【町長】 3歳未満児において必ずしも希望に添えない場合がありますが、新年度には希望に添えるよう取り組んできました。しかし、これまで児童一人ひとりの育ちに寄り添い、配置基準に

関わらず職員を加配する等の取り組みを行っています。さらに、毎年保育士の新規採用を行っており、今後も良質な保育の提供や良好な職場環境の確保に向け、協議・検討します。

問4 保育士・保健師による訪問育児サポートは可能ですか。

答

【町長】 訪問育児サポートは実現には非常に大きなハンドルがあり、直ちに実施するのは困難と考えています。町としては子育てサークル等の支援や育児を離れた方の活用等も検討し、子

育てボランティアの育成に繋がるよう取り組んでいきます。

問5 女性の活躍のためには男性の育児や家事の分担が必要不可欠です。役員取得数は何人ですか。

答

【町長】 直近3年間において、育児休業取得対象者の延べ10名中4名が育児休業を取得しているほか、特別休暇等を含め、ほぼ全ての者が何らかの育児サポートの休暇を取得しています。



元気に外遊びをする園児(小鳥谷ふじの花こども園)

誰でも利用できる  
娯楽施設がほしい



木村 楓さん  
北桜高校3年生



一戸町についてみんなで話し合い、定期的にイベントは行われますが、私は子どもからお年寄りまで誰でも利用できるような娯楽施設がもっと身边にあればいいなと思いました。

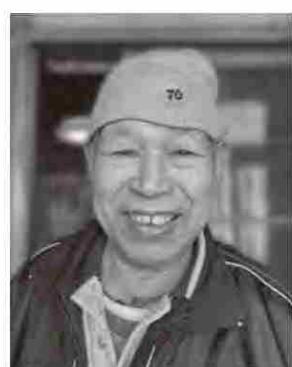
若者に技法を伝えたい!



高橋 舞衣さん  
北桜高校2年生

一戸町は自然が多いところが魅力のひとつであり、私の好きなところでもあります。ですが生活する中で、友人と集まる場所がないと何度も感じています。ショッピングモールなどの大型施設でなくていいので、一息つけて腰を下ろせる場所があればより良い町になると思います。

人が集まり一息つける場所がほしい



戸部 定美さん  
70代 面岸地区

サルナシの木を材料にした箕や手提げかごを作っています。

後継者がいないので若い方に技法を教えたいです。興味のある方は連絡ください。

社会・地域とのつながりの輪を広げたい



南館 里美さん  
40代 中里地区

障がいを持つ子どもが通える放課後デイや、親が安心して働ける環境づくりがあると助かります。そして、子どもが遊べる屋内施設、父母が交流し、安らげる場があるといいなと思います。



土屋 順一さん  
60代・出ル町地区

出ル町地区の一部で、昨年秋にイノシシによる被害があり約1haの米が収穫できませんでした。また、水田の畦畔等も被害を受けています。対策を講じないと、地域の米の作付けが非常に厳しいものになります。

我々生産者も対策を考えますが、被害拡大を防ぐため支援をお願いします。

イノシシによる米の被害

つながりの輪を広げたい



南館 里美さん  
40代 中里地区

障がいを持つ子どもが通える放課後デイや、親が安心して働ける環境づくりがあると助かります。そして、子どもが遊べる屋内施設、父母が交流し、安らげる場があるといいなと思います。

社会・地域とのつながりの輪を広げたい



南館 里美さん  
40代 中里地区

障がいを持つ子どもが通える放課後デイや、親が安心して働ける環境づくりがあると助かります。そして、子どもが遊べる屋内施設、父母が交流し、安らげる場があるといいなと思います。

もみじ交遊舎  
下村 慎悦 館長



このようないわゆる竹細工は、古くは縄文時代から続いているといわれ、長い時間と年月をかけ遠くなるような長

鳥 越地区に伝統工芸として伝わる竹細工は、古くは縄文時代から続いているといわれ、長い時間と年月をかけ遠くなるような長

い時間がかかる。しかし、このように竹細工は、古くは縄文時代から続いているといわれ、長い時間と年月をかけ遠くなるような長い時間がかかる。しかし、このように竹細工は、古くは縄文時代から続いているといわれ、長い時間と年月をかけ遠くなるような長い時間がかかる。

で、今日の竹細工につながっています。竹細工に使用する材料は、自生する「スズタケ（篠）」という細い竹を使用しています。青竹と違い字が透けて見えるほど薄く加工でき、軽く製作することができます。

このような竹細工づくりに最適なスズタケですが、材料確保に困難な時期に直面しています。120年に一度といわれる竹の花の開花の時期が訪れており、竹の花が咲くと竹は一斉に枯れてしまい、再生には10～15年かかるとされています。青竹と違い字が透けて見えるほど薄く加工でき、軽く製作することができます。

一斉に枯れており、材料の確保が困難な状況となっています。

当もみじ交遊舎では、課題である「竹細工製作者の減少や高齢化」に対応するため、講師の指導のもと、若い世代の方への研修教室を実施しています。

以前は広く受講者を募集していましたが、現在は材料不足により、竹細工体験は一戸町と二戸市在住の方、研修受講は

で、今日の竹細工につながっています。竹細工に使用する材料は、自生する「スズタケ（篠）」という細い竹を使用しています。青竹と違い字が透けて見えるほど薄く加工でき、軽く製作することができます。



## ごしょどん議会だよりクイズ

### 問題 新年度一般会計の民生費予算是いくらでしょうか？

正解者の中から抽選で2名様に「いちのへ商品券」1,000円分をプレゼントします。

#### 【応募方法】

ハガキに答え、住所、氏名、年齢を記入のうえ、右記まで応募してください。ただし、お一人様1通の応募に限らせていただきます。また、議会や議会だよりに対するご意見、ご感想などがありましたらあわせてご記入ください。

議会に関する  
クイズだん!  
ヒントは議会だよりの  
中にあるどん!!

【応募先】 〒028-5311 一戸町高善寺字大川鉢24-9  
一戸町議会事務局 クイズ係

【締め切り】 6月21日(金)消印有効

【当選者発表】 次回号(8月発行予定)で  
発表します。

【前回の答】 18.75kg

みんなの応募  
待ってるどん!

【前回の当選者】  
寺澤様、立花様です。

おめでとうございます。



ごめでとうございます。



副委員長 大澤 恵里子

UD FONT 見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

あとがき

▼3月議会で町の予算が全て可決され、議会も新年度を迎えました。町民の皆さまが、より過ごしやすいまちづくりにこれからも努めてまいります。

▼一戸高等学校生徒さんと広報広聴常任委員会との意見交換会が行われ、一戸の未来に関する次世代を担う若者の意見は、今後のまちづくりに貴重なことだと思っています。今後もこのような機会を増やしていきたいと思います。

▼この春、新生活を迎えた皆さん、慣れない日々で体調を崩されないよう、気を付けてお過ごしください。

× 第18回  
1戸町の宝探し  
×

